

選ばれるジオガイドとお客様づくり

発表者：株式会社グローバルネイチャークラブ 西谷香奈氏

【質問】 今後3～5年で次の噴火、災害が身近なジオパークだと分かります。ジオパークの「保全」「教育」の部分で災害遺構の保全、活用はどうされていますか？

【回答】 1986年噴火で残った三原神社、2013年の土砂災害時に働いて、その後塗り直した砂防ダムなどはガイドツアーで伝えています。2013年の災害のあと最も被害があった地域をメモリアル公園として整備中です。火山博物館には土砂災害の範囲や雨量などのポスター展示があります。36～38年の間隔で噴火し、暴風雨が景色を変える伊豆大島では、読み取る力さえあれば、目の前の風景そのものが遺構であるともいえると思います。

【質問】 火山活動が活発な伊豆大島に住む魅力は何ですか？

【回答】 4つのプレートがせめぎ合う日本では、全ての人々が噴火、地震、津波、洪水、土砂崩れなどが作った大地の上に暮らしています。その証拠となる景色が目の前にあり、地球の動きを体感できる島だからです。人間が自然に対して自信過剰にならず、謙虚になれる場所だと感じています。2013年の土砂災害も2019年の爆風による災害もダメージは大きいですが、そこから立ち直っていく生命と、暮らしを再建してきた人々のたくましさを感じることができます。

【質問】 伊豆大島は川が無いそうですが、現在はどのようにして水を確保していますか？

【回答】 地下水をくみ上げ、脱塩して各家庭に供給しています。昭和の半ば過ぎに水道が全戸に引かれるまでは、屋根から雨トヨに流れた天水を利用したり、集落にある共同井戸での水汲みで水を確保していました。

【質問】 伊豆大島での災害の備えや生活の工夫はありますか？

【回答】 まず自分が住む場所のリスクをよく知ることが大切だと思いますが、火山噴火、台風、津波などの自然災害に関する勉強会は繰り返し行われています。また、災害を忘れないようにする工夫もなされています。1986年噴火で全島避難した日が島の防災の日に指定されている他、2013年の台風災害の日も追悼の儀式が行われています。大きな被害が予想される台風などの時は、町の防災無線やジオガイドのメーリングリストなどで避難や備えを促す情報が流れます。避難所以外でも比較的安全な地域に住む知人宅への自主避難なども行われています。

【質問】 伊豆大島でのお客さんの滞在時間はどれくらいですか？

【回答】 日帰りから1泊が多いです。私たちの店のお客様は、普通1泊、3連休などは2泊、夏休みなど長期休みは3～4泊の方もいらっしゃいます。

【質問】 雨が降ったなどいつもと違う状況の時はどのような工夫をされていますか？

【回答】 大雨や雷など危険を伴う時はツアー中止。または時間や日程変更。小雨程度は歩きますが雨の様

子を見ながら雨でも楽しめるコースに変更することもあります。申し込みの時に上下の雨具の持参をお願いしています。持参されていない方には雨合羽、長靴などをお貸ししています。

【質問】 年齢層ごとに要望が違うのでは？同じツアーで通用しますか？もしくは年齢層によって内容を変えているのですか？

【回答】 どの年齢のお客様も「楽しみたい」というお気持ちは同じで「自分たちだけで歩くのとは違う体験ができるはず」とガイドをリクエストしてくださるので、年齢による要望の違いは感じません。ただ、お客様の目的は様々です。お子様に自然に触れる体験をさせたいご家族、社員旅行やお友達同士の旅行で楽しい体験を望まれるお客様、専門家の方々の研修旅行など、それぞれのお客様のご要望にあう内容を、提供できるように考えています。

【質問】 ジオサイトのアクセスはどうしていますか？

【回答】 バス、タクシー、レンタカーなどのほか、ツアーに伴う無料送迎も行なっています。

【質問】 ガイド中の安全対策はどうですか？活火山である伊豆大島では、噴火・地震発生時に安全対策としてどのような装備がありますか。

【回答】 火山噴火（と噴火に伴う地震）に関しては、事前情報の収集や、できる限りヘルメットを携帯するようにしています。ヘルメットは町が無料で貸し出しているものを利用しています。伊豆大島には火山防災連絡事務所があり、専門家が2名常駐して監視してくれています。噴火の兆候が見られた時は警戒レベルが上がり、カルデラ内が立ち入り規制になります。しかし人任せにせず「火山は噴火するもの」という心構えを持って、周りの変化に敏感でありたいと思います。もちろんそれで無事でいられるかはわかりませんが、リスクは火山噴火も、大きな地震も、津波も同じだと考えています。

天候に関してはいくつかの雨雲予報を駆使し、強雨の予想される時間は避けたり、強風の時はコース変更しています。

その他、足場の悪いところでの声かけ、熱中症予防、ヒートロス予防など、安全対策は多岐にわたるので、詳細は店の安全マニュアルにまとめています。

【質問】 ボランティア（無料）ガイドはいないのか？

【回答】 大島町や観光協会では、近年はボランティアガイドの育成は行ってはいません。火山博物館、郷土資料館、山頂ジオパーク展などの室内施設にいるガイドの案内には料金は発生しません。